

招集期日 平成22年6月16日(水曜日)

招集場所 入間市庁舎5階第2委員会室

開 会 6月16日(水曜日)午後 1時45分

閉 会 6月16日(水曜日)午後 2時40分

出席委員	委員長	近藤常雄	副委員長	金澤秀信
	委員	小出亘	委員	吉澤かつら
	委員	永澤美恵子	委員	宮岡幸江
	委員	横田淳一	委員	平山五郎
	委員	宮岡治郎		

欠席委員 な し

説明のため出席した職員	市民部長	市民部次長
	市民生活課長	関係職員

委員会に出席した事務局職員 高山 勇 鹿山 明美

△ 開会及び開議の宣告（午後 1時45分）

委員長 ただいまの出席委員は9名であります。定足数に達しておりますので、これより交通対策特別委員会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

△ 議事

委員長 これよりお手元の次第に従いまして議事に入ります。

本日は、まず交通渋滞対策についてを議題といたします。

ことしのゴールデンウィーク中の交通渋滞について、執行部より状況の報告を求めます。

市民生活課長 それでは、今回のゴールデンウィークにおける交通渋滞におきましての説明をさせていただきます。

初めに、取り組み状況につきましてご説明いたします。最初に、2つの商業施設の比較なのですけれども、当初駐車場台数でございますが、アウトレットパークが当初常設が2,700台、臨時駐車場が300台、そしてコストコにつきましては常設が850台という状況でございましたが、現在におきましては臨時駐車場が、アウトレットパークが760台、コストコにつきましては650台という状況になってございます。

そして、今回の渋滞に対する対策ですけれども、コストコにつきましては、入庫車両を分散させる関係で、開店時間を若干、30分程度早めております。

そして、車両の誘導方法でございますが、国道16号につきまし

ては、通常コストコの駐車場入庫の際に混雑が見受けられるといったことから、16号の混雑状況によりましては、アウトレット側の立体駐車場がございまして、そちらのほうにコストコのお客さんを呼び込むというような体制をとっております。そしてまた、16号への渋滞対策といたしまして、アウトレットパーク内に周回する道路がございまして、そちらを利用する形で、アウトレットの南側に墓地がございしますが、そちらの道路を使って、16号側ではなく、東側の入り口からの入庫を推奨しているというところでございます。

続きまして、臨時駐車場なのですが、資料の1をごらんいただきたいと思えます。こちらのアウトレットパーク側で作成いたしました誘導計画図を写したものでございますが、工業団地内におきまして、先ほど申しました臨時駐車場を配置してございます。4カ所ございまして、A、B、C、D、それぞれ80台、100台、100台、50台と、合計330台。こちらを、矢印がございしますが、国道16号から、川越方面からですね、国道16号を通ってきた車に対して、コストコ、アウトレットではなく臨時駐車場のほうへ案内をして、少しでも16号の渋滞を緩和させるというような方法をとっておりまして、この駐車場につきましては、お客さんをアウトレット側へ、バスを利用いたしまして、ピストン輸送をしているという状況でございます。

そして、その他幹56号線藤宮道路につきましては、2カ所臨時駐車場を設けておりまして、U S S、こちらは中古車のオークシ

ョン会場でございますが、そちらに340台、その反対側、キャンピングカーを売っている裏あたりなのですが、そちらに90台の臨時駐車場を設けてございます。

ちなみに工業団地の臨時駐車場の駐車状況なのですが、連休中における駐車につきましては、これは申しわけありません、資料はございませんが、1,231台連休中にとまっておりまして、1日当たりの駐車台数は246台となっております、駐車率については75パーセントという状況でございました。

そして、入場の見込み数なのですが、アウトレット側では37万人の見込み客を見込んでおったわけですが、実績につきましては35万人ということで、およそ95パーセントという状況でございました。なお、コストコにつきましては、三郷に昨年7月に同じコストコ店がオープンしたという関係もございまして、入間店については若干会員数が減少しているというような情報も得ておるところでございます。

そしてまた、同じく資料1をごらんいただきたいと思いますが、この周辺に1番から9番までの番号がございまして、こちらにつきましては警備員、また誘導員等を配置しているところでございます。特に2番につきましては、場所的にめぐみ幼稚園の北側に当たる部分でございますが、そちらについては以前抜け道が、16号が渋滞しているために、迂回をする車が多いというような苦情もかなり多かったものでございますので、そちらにも看板と同時に誘導員を配置いたしまして、通り抜けはできませんというような

ことで対応をとっておるところでございます。

続きまして、資料の2ページをごらんいただきたいと思います。やはり交通渋滞に対する取り組み状況でございますが、西武バス側といたしましては、今ご説明を申し上げたアウトレット側の計画を把握するための事前協議をしてございます。そして、連休中におきましては、やはり16号が混雑するものですから、直行便につきましては、16号をちょっと迂回をするような形で、ペアーレのほうから工業団地内を通過して16号へ出て、反対側、南側からアウトレットへ行くというようなコースの迂回をとってございます。そして、駅のロータリーですとかアウトレットパーク内のバス停に混雑がないよう、また安全に乗車ができるよう、交通誘導員を配置しております。そして、バスの乗車につきましては、6割から7割としてございます。こちらは以前に、満車のバスの乗客、満車の状態で気分が悪くなったと、そういうような方もおられたようなので、少な目にといいますか、満車にならない程度の6割、7割で発車してしまおうというような体制をとって、お客様の体調管理に努めているというような状況でございます。

そして、市からは、これは市側からですけれども、対策、また運行状況などの報告のお願いをしてございます。

そして、ていーろーどですけれども、これも西武の運転手さんとか、運行しているところなのですが、渋滞状況につきましては、インターネットなどによる情報を入手をいたしまして、臨時便ですとか代走の運行、そういったものを手配をしてございます。

そして、庁内におきましては、商工課ですとか関係各課との連絡を密にとっておりまして、交通情報の渋滞情報の収集に努めるというものでございます。

そして、ゴールデンウィーク当日の渋滞状況の把握なのですが、市といたしましては消防署、また市民部の職員、当直の職員に対しまして、情報提供ですとか電話の応対などについて依頼をしております。そして、我々担当課といたしましては、直接、午前、午後に分けて、担当職員が現場付近に出向きまして、渋滞状況を実際目で見て確認をします。また同時に、インターネットなどによる渋滞情報も収集しているところでございます。

そして、一番周辺の住民が迷惑をこうむるということで、地元自治会の東金子第16区、藤沢の第1区、また宮寺の縄竹地区の区長さんをお願いをして、ゴールデンウィーク期間中に要望とか苦情がありましたら、ぜひ市のほうへ教えていただきたいということでお願いをしているところでございます。

そして、西武バスですけれども、こちらについてはバスロケーションシステムを通常運用しておりまして、こちらはGPS等を用いましてバスの位置の情報を収集いたしまして、バス停の表示板や携帯電話など、パソコンとか、におきまして情報を提供するシステムで、これによって渋滞などを、バスがおくれている場合のいろいろの解消ですとか、また西武バス側では、このシステムを使用することによって、代走運行ですとか、そういった計画も立てているというところでございます。また、やはり先ほどから

申しているインターネットによる情報の収集、日本道路交通情報ですとか、そういった情報をサイトから得ているところがございます。

エフエム茶笛につきましては、やはり道路情報、交通情報、またこちらについては有料サイトも使用しているというようなことも聞いております。また、実際ラジオを聞いているリスナーの方から情報をいただきまして、電話等でお話を受けながら、それも加味して情報提供しているというお話でございます。道路交通情報の放送につきましては、通常は月曜から金曜が10回、土曜日が6回、日曜日が4回というようなこととお話を伺っておるところでございます。

そして、次、3ページ目と資料の2番、カラー刷りのもの、こちらをごらんいただきたいと思います。こちらの資料2番の交通渋滞状況図につきましては、以前この特別委員会でお示ししてございます、平成20年度の4月分、4月のオープン時、また21年の9月のシルバーウィークの時点のものに、今回のゴールデンウィークでの渋滞状況を示したものでございます。午前、午後などに区分した場合、非常に資料が複雑となってしまいますので、連休中で最も混雑した状況ということで示してございますので、ご了承くださいたいと思います。

調査の結果、国道16号につきましては、高倉の田代園前からの渋滞ということでございまして、およそ3キロの渋滞となっております。20年が7.6キロ、21年が4キロということで、徐々に減

ってきているという状況が見られます。

続いて、幹56号藤宮道路なのですが、こちらについては3年間、残念ですが、おおむね同じような状況と。アウトレットから463の交差点までと、上藤沢北の交差点までの渋滞ということが見受けられます。時間的には、5月3日は終日込んでいたというような状況でございます。

そして、幹38号線、こちらの工業団地の入り口から富士ボウル方面の道ですけれども、こちらにつきましては3日、4日が特に込んでいたということです。しかしながら、20年のオープン当初よりは大幅減っているというような状況でございます。

次に、市道D466号線、こちらは県道の川越入間線からアウトレットパーク方面への道、旧池内自動車の北側の道でございます。そちらにつきましては、その幹56号から県道まで、ほとんどつながってしまったという状況が見受けられます。

その次、県道川越入間線につきましては、当初オープン時は、藤沢の西武池袋線の踏切付近までが込んでいたという状況がございますが、今回につきましては上藤沢の交差点までということで、こちらは大幅減ってございまして、混雑した時間帯におきましても、夕方4時ごろのみという調査結果を得ておるところでございます。

そして、国道の463号線につきましては、ことしは昨年と比較をして渋滞が延びてしまっているという状況がございます。しかしながら、当初20年のオープン時に比較しますと、299側におい

て渋滞が見られなかったものですから、かなり減っているのではないかなというようなことが見受けられます。一番目立つ16号がほとんど、半分近くになっているということがこの図面でおわかりいただけるかと思います。

あと、圏央道につきましては、以前は本線まで並んでいたという状況なのですが、今回につきましては、本線はもとより、出口付近においてもそれほどの混雑は見られないというようなことでございます。

4 ページ目をごらんください。交通機関のおくれ、遅延状況でございます。こちらは、ていーろーどと西武バスの状況でございます。連休中における最大におくれた時間、それを示してございます。北コースにつきましては、今年度一番おくれたのは20分おくれ、南コースが18分、東西コースが21分となっております。21年度につきましては、北コースが5月5日の36分、南コースがやはり同じ5日の20分、東西コースが70分ということでございます。この数字的なものを見ますと、21年度の最大のおくれが70分に対しまして、今年度が21分ということで、こちらもかなりのおくれが取り戻しているのかなというような状況が見受けられます。

次に、西武バスですけれども、やはり22年度については5月3日が最大のおくれが出ておりまして、二本木線が80分、中神線が30分のおくれということでございます。21年度、二本木線が5月5日の106分、中神線が23分ということでございます。106分に対

して今年度は80分ということですので、およそ20分間ぐらい遅延が少なくなっているというような状況でございます。

次に、代走回数、米印なのですが、代走については、通常の定期バスの大幅なおくれにより運行できず、予備のバスが運行した回数が代走回数で、欠車については、運行ができなかった回数、また増車については、定期便以外に増発したバスの回数ということになってございまして、代走の回数が今年度は25回、昨年が61回という形で大分減少してございます。欠車の台数が、ことしが1回、昨年在8回、こちらでも減少してございます。増車の台数につきましては、ことしが60回、昨年在42回、こちらについては18回ほどふえておりますが、こちらは先ほど説明したように、満車ですとお客様の気分が悪くなったり、そういったことがありますので、満車になる前の6割、7割ぐらいで発車をさせたためにバスをふやしたと、増車をしたというようなことで理解をしております。

続きまして、5ページ目をごらんいただきたいと思います。地元の方々に、苦情等があったら区長さんに教えていただきたいということで、ご依頼申し上げた結果でございます。敷地内でUターンする者がいたという連絡が1件ございました。そのほか連休中の当直ですとか、その後の連休明けの週などにつきましての問い合わせ、また苦情等については、その他一件もないような状況でございます。地元の自治会でのお話ですけれども、3つの地区にお願いしたわけですが、ほか東金子地区第16区についてはござ

いましたが、ほかはないという状況でございました。

東金子第16区につきましては、先ほどのめぐみ幼稚園の北側の関係でございますが、通り抜け禁止の看板だけでなく、人がいたことによって、オープン時と比べて通り抜けなどが少なかったというようなお話を聞いております。また、大幅な混雑はなかったのだけれども、3日と5日はちょっと込んでいたようだというようなお話も聞いております。

過去の要望につきましては、やはり抜け道が多いですとか、Uターンをする車がある、また自分の自宅の駐車場に入るのに苦労しているというようなお話も聞いておるところでございますが、今回につきましては、敷地内のUターンについてはやはり1件ありましたが、その他についてはないという状況でございます。

続いて、今後なのですけれども、先ほどご説明しましたように、一番渋滞が目立っておりました国道16号、また県道の川越入間線、そちらが大分渋滞としては解消されているというようなことで我々も把握しておりまして、また地域住民の苦情等につきましても1件ということで、ほとんどないような状況となっております。しかしながら、これでよしとするようなことではなくて、また今後とも両店舗、また狭山署等の指導をいただきまして、渋滞対策に力を入れていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

説明は以上でございます。

委員長 ありがとうございました。

それでは、今の報告に対しまして、質疑がありましたらお願いしたいと思います。

平山委員 渋滞については非常によくわかりました。そのうち危険箇所というのがそばにあるわけだ。ふれあい橋とか武蔵ゴルフの前、宮寺の交差点、あの辺でかなり交通事故が多いというふうに言われているわけだ。その期間中にそういうところでの大きな事故があったのかどうかちょっと、関係ないかもしれないのですけれども、教えていただきたいのですが。

市民生活課長 個々にお聞きしたわけではございませんが、狭山署のほうからゴールデンウィーク中、そういった大きな交差点ですとか、抜け道ができるような箇所についての大きな事故があったというような報告はございません。

永澤委員 状況はよくわかったのですが、私個人としては、苦情が少なくなったから改善してきたとは思っていないのです。要するにもうあきらめたというのが大きいところではないかなというふうに地元としては思います。

その中で、一つ、藤宮道路なのですけれども、私も実際通ってみまして、ここに今後についてとあるのですが、藤宮道路には全く触れられていないのですけれども、どうしても帰る車が右折して16号に行って、圏央道に乗ろうとするので、右折帯が非常に込んでいるのです。右折帯をすごく長くとっていただいているのですけれども、それでも足りずに、真っすぐ行こうとする、16号を左側に曲がろうとする車は、その右折車がいるので、全く動けず

に渋滞が起きているという状況があるように感じられるのです。

ここは全く1年たっても改善されていないというふうにもお聞きしたので、この辺のことについて、何か協議というかされたことといのうはあるのでしょうか。

委員長　それでは、市民生活課長のほうでお願いします。

市民生活課長　この件につきましては、右折車が並ぶと、やはり真っすぐの車が行けないというふうなことだろうと思いますので、根本的には道路の整備とかにかかわる件も大分多いと思います。それにつきましても、道路担当、建設部のほうにお話を聞くなり、改善の要望、また計画があるかどうか、そういったお話も確認をさせていただきながら、お話を進めさせていただきたいと思います。

金澤委員　まず最初に、ちょっと先ほどの平山委員からあった事故の情報についてなのですが、大きな事故は警察からは入りませんでしたというふうなご答弁があったのですが、ふだん入るのですか、事故があったら。

市民生活課長　残念ですが、死亡を引き起こすような事故についてはもちろん情報は入ります。その他の、例えば我々勤務時間帯に救急車が行くというような音が聞こえたりした場合、通常狭山署のほうに問い合わせたりはしている状況ですが、連休中につきましては、ちょっと把握をしていない状況でして、その後例えば週明けにそういったお話を聞く場合もあるというようなことで、かなり大きい事故でないちょっと耳に入らないというような状況が残念ながらございます。

金澤委員 別に責めるわけではないのですけれども、正確なご答弁をしていただくには、今平山委員がおっしゃられた質問に対しては、情報を取得していないと、把握していないというふうなご答弁の方が私は正確だと思いますので、その点間違えないようによくお願いしたいと思います。

それで、今回は交通渋滞対策の調査については、直前にお願いをしたということで、担当課の方を初めゴールデンウィーク中に出ていただいて本当にありがとうございます。ご迷惑をおかけいたしました。ありがとうございます。

それで、その上でお聞きしたいのですが、この渋滞情報を地図上に落としてください、見やすくしてくださいということで私のほうからもお願いさせていただいたのですが、この渋滞情報、この地図に落とした情報はどの情報に基づいて落とされましたか。

市民生活課長 こちらにつきましては、先ほどご説明したとおり、3回の記録でございますが、すべて3回とも我々職員の調査によるものでございます。ただ、時間帯につきましては、先ほど申しましたように、例えば今回でいうと午前1回、午後1回でございますので、申しわけないですが、終日見てございませんので、その中で見たもので多く渋滞しているものを記載したものでございます。

金澤委員 そういう意味で、当然職員の方も連休中で、大変ご迷惑をかけるのは忍びないということで事前に、ゴールデンウィーク前に私は、エフエム茶笛さんの渋滞情報をしっかりと把握してくださいねということでお願いをしたのです。私も、ゴールデンウィーク

中、エフエム茶笛さんの渋滞情報を時折耳にしていたのですけれども、今回事前をお願いしたにもかかわらず、このエフエム茶笛さんの情報はどこに反映されているのですか。資料にもないのですけれども、どうなっていますか。

市民生活課長 今もご説明させていただきましたが、以前から我々の目で見えた範囲、また消防署等の把握した情報で継続しておりまして、金澤委員さんのお話は承っているところですが、それにつきましては申しわけないのですが、過去にやっていたものでちょっと踏襲をさせていただいたということで、茶笛のほうについては、どういう情報を仕入れているのかというようなことはお聞きさせていただきました。

金澤委員 ちょっと済みません、理解ができないのですけれども、エフエム茶笛さんが、きちんとその周辺、コストコとかアウトレット、本当の近く、周辺だけではなくて、さらに外に広がっていく近隣市のほうまで踏み込んだ情報をラジオで流されているわけなのです。ですから、職員さんの把握が足りないということで責めているわけではなくて、限界があるわけですから、せっかくそういうメディア側が情報として持っているわけですから、何でそれを使用しないのですかということを、今回は交通対策特別委員会ということで、過去の21年、20年とか、全然状況が違うわけですから、より正確な状況の把握のためには、事前をお願いしていたとおり、エフエム茶笛さんのデータを使わないという手はないというふうに私は考えるのですが、いかがですか。

市民生活課長 済みません、その件につきましては私は勘違いしておりました。エフエム茶笛が道路交通情報を流していると。それは我々も存じておったわけですが、その交通情報を流す元データについて、どういうふうにエフエム茶笛で取得をしているのかというようなことで、我々はちょっと勘違いしてお聞きいたしました。

今後、例えばこれに限らず、また9月の連休とか、また来年の5月とか、当然我々も調査する立場でありますし、調査しなくてはいけないものですから、その辺については、そういうエフエム茶笛の情報もそうですし、ほかのサイトもございますよね。そういったものを参考にしながら、例えば図面にあらわすとか、公表するとか、そういったときには、資料づくりのために、そういう方向でやらさせていただきたいと思います。

金澤委員 よろしくお願ひします。

というのも、なぜそうやって言うかといいますと、5月2日の新茶祭りがありました。新茶祭りのときに、時間もあったものですから、お昼前後ということで、このアリット周辺を車でぐるぐる回らせていただいて、実際自分の目で渋滞がどれくらい延びているかを抜け道探しながら見て回ったのですけれども、特に16号については大体こんなイメージでした。ただし、特にこのデータと職員さんの今回いただいた渋滞の情報と、残念ながら違うのが463バイパスなのです。この463バイパスの道路については、今年度は上藤沢南交差点までというふうな形で記載されています。あくまでも今回のゴールデンウィーク中は渋滞が少なかった5月2

日に私が見たときですら、小手指のほうまで延びていたのです。その辺がちょっと情報として、これが間違っているということではなくて、そういう情報も、私実際見てきたものですから、より正確なデータを取得するために、また今後、きょうすぐということではなくて、エフエム茶笛さんと連携していただいて、より正確な情報の把握がしていただけるように今後お願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員長　ほかにございますか。

〔(ありません) と言う人あり〕

委員長　それでは、ないようですので、先ほど永澤委員から右折帯の対策、その辺と、あと事故の問題、もう一点は今茶笛との連携を図っていただくと、一応3点を主な次の課題にしたいと思いたしますので、よろしくお願いします。

〔(1点よろしいですか) と言う人あり〕

委員長　どうぞ。

市民生活課長　済みません、エフエム茶笛の件なのですが、今回この件で問い合わせをさせていただいたときに、情報を放送しますよね。その情報をいただけないかというようなお話をさせていただいたのです。ところが、エフエムさんにつきましては、有料サイトでやっているものですから、そういったものの情報を、市役所といえども、ほかに流すのはどうかなというようなお話もございました。ただ、金澤委員さんのご指摘で、より正確なものを把握して図面にあらわすというような場合については、例えば交通情報、

我々が直接聞いて、もしくは録音でもあれなのですが、そういった形でやらざるを得ないなというようなことを今感じておるところで、やはり我々交通担当もちょっと人的に行き届かない面もありますので、その点ご了解をいただければと思います。

委員長　それから、もう一点なのだけれども、16号を今改造というか右折帯の改造をしていますよね。消防署の前と、あとあれは工業団地の入り口、あの辺の情報は入っていないのですか。

市民生活課長　申しわけありません。ちょっと情報は入っていない状況でございます。

委員長　ああ、そうですか。実はもう1カ月ぐらい前かな、から右折帯を今延長しているのです。その辺が交通対策としても意味が、今のところ情報が入ってきていないというのは、何かおかしいかなという気がするのですが、やはり我々は今アウトレットとコストコの関係をやっておりますので、やはりその辺の情報はきちっと押さえるべきではないかなというふうに思っておりますので、よろしくをお願いします。

それで、先ほど藤宮道路線、あの辺の右折対策というのは、今までは話が出ているのですか。

市民生活課長　申しわけございません。私が来てからそういう情報は入っておりませんが、過去の議事録ですとか、そういったものをちょっと調べてみたいと思います。

委員長　それで、今私が言っているのは、今、藤宮通り線でコストコから出ますよね。あれで左折して、今度は右折するわけです。です

から、あの辺を改善しないと、恐らくこの右折帯の、先ほど永澤委員から話したあれは解決できないのではないかなと。というのは、あそこから出しているわけですね。ですから、距離が少ないので、やはり16号へ右折はなかなか難しいのかなと。その辺の出入りの件を、やはりもう一度対策を考えてもらえるように、交通対策のほうからお願いしたいと思いますので、よろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 なければ交通渋滞対策についてを終了いたします。

交通渋滞の状況については、大分解消されてきたようでございます。今後も引き続き状況を監視いただきまして、改善策の協議を行っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、生活道路の速度規制についてを議題といたします。

この問題につきましては、かねてから川口市の例を視察したらどうか、警察の方の話を聞けないかという意見がございました。この点について、執行部で何か情報がありましたらお願いしたいと思えます。

市民生活課長 先日お話がございました川口市の件につきまして、視察をしてみたいというようなお話がございましたので、川口市のほうに担当の交通安全対策課というのがございまして、そちらのほうにお問い合わせをさせていただきました。その結果、現地の案内、また速度規制に至る経過ですとか、そういった説明につきまして、ご説明申し上げてもよろしいというようなお話を承っておりますのでございます。

また、続けて警察のほうの方のお話なのですけれども、これは狭山署の交通課長に聞いたのですけれども、正式な場ではなく、例えば意見交換会ですとか、懇談会ですとか、そういった席上であれば、いろんな質疑にお答えできるのではないかというようなお話も受けているところがございます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。それでは、今市民生活課長から報告がございました。

まず、川口市への視察については実施するというところでよろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 それでは、実施するということにしたい思います。

実施する場合は、これは日程的にはどうなのですか。事務局のほうで。

事務局 僭越ながら、7月の後半のあたりでどうかなというようなことで、内々川口市のほうに打診しましたところ、7月27日の火曜日ならばよろしいというような返事はいただいております。

以上でございます。

委員長 今事務局のほうから、7月27日火曜日ということで今事務局のほうでいろいろお話をいただいたのですが、皆様のご意見はいかがですか。何か予定入っていますか。

〔(1カ月先だもんね。ちょっとわかんない。とりあえずはいい) と言う人あり〕

委員長　これは交通対策特別委員会ですので、やはり公式な議会の委員会ですので、なるべくこれを優先していただきたいというふうに思っております。

〔何事か言う人あり〕

委員長　では、7月27日、これは午前中か午後か、どちら。事務局のほうで。

事務局　できれば午前中がよろしいかなと思っております。

委員長　今午前中ということで、また時間等決まりましたら、また皆さんにご報告したいと思いますが、その辺でよろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

金澤委員　ここで特別委員会として行くわけなのですが、やはりそういう交通安全対策に興味を持っているほかの委員外議員は、これは認められるのですか、どうですか。認める方向でいいのですか。というのは、せっかくきょうも傍聴にも来ていただいている熱心な方もいるので、ほかの、委員だけではなくて、募ってもいいのかどうか、それをちょっと……。

委員長　その辺について、バスは何台、何人……。

事務局　一応マイクロは押さえてありますけれども、定数はたしか二十七、八だったとは思いますが、かなり目いっぱいはいはきついとは思いますが……。

委員長　では、20人ぐらいということですね。

事務局　そうですね。

委員長　そうすると、このメンバーだと大丈夫ということで、委員外議

員としては行く予定はあるのですか。

〔(日程が合えば行きたいと思います)

と言う人あり]

委員長 よろしいですか。

〔(はい) と言う人あり]

委員長 では、皆さん、出席したいということなのですが、よろしいですか。

〔(はい) と言う人あり]

委員長 では、委員外議員さんも出席をしていただくということにいたします。

事務局 委員外議員の出席につきましては、改めて正式には通知しませんので、各会派のほうで声をかけていただいて、事務局のほうに連絡していただくというふうな形でよろしいでしょうか。

委員長 そうしますと、先着、事務局のほうがありますので……

事務局 当然執行部の方にも同行していただく予定でございますので…
…

委員長 事務局は、何人ぐらい予定しているのですか、行く場合。

市民部長 もちろんそちらのほうの定員に合わせさせていただきますけれども、最低は三、四人は行かせていただければというふうに思っております。

委員長 そうすれば17人ぐらいですから、先着15名と……

〔(委員入れているんでしょう) と言う

人あり]

委員長 この委員を入れて。委員がだから……

〔(10人ですので、9人か) という人あり〕

委員長 今9人の10人でしょう。あと五、六人ということで、だからあと先着5人と。

事務局 先着5人。はい。

委員長 それでは、7月27日火曜日午前中に視察ということで、後ほどまた時間等は皆さんにお伝えしますので、よろしく願いいたします。

視察事項なのですが、経緯と概要、効果と課題という形でいきたいと思いますが、よろしいですか。

〔(はい) という人あり〕

委員長 それでは、川口市さんのほうにはその旨お伝えしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、狭山警察の方との話し合いについてですが、協議会という形で実施するということがよろしいでしょうか。

〔(はい) という人あり〕

委員長 先ほどお話がありましたように、正式な形だとなかなか言えない部分があるということで、できれば協議会あるいは意見交換会という形でしたいと思いますが、そんなふうでよろしいでしょうか。よろしいですね。

〔(はい) という人あり〕

委員長 それでは、実施するという場合、いつごろがよろしいですか。警察の方とも話がありますので、執行部のほうで、それはどうだ

ろう正副委員長で……。今ここで言われてもなかなか難しいと思います。

金澤委員 基本的に川口市に視察をして、十分な基本認識を皆さんで共有してから、それからちょっと時間を置いて警察の方ということで、8月以降ということで、時期的には、細かいことについては正副委員長に一任という形にさせていただければありがたいと思うのですが、いかがでしょうか。

委員長 今副委員長のほうからお話がありました。そんなような形でよろしいですか。というのは、この川口市さんに視察に行って、その後いろいろ情報が入ってきます。今度は警察の方とそれに対して協議するというようなことにしたらいいのかなということで、時期は8月ごろと、8月になってからということでよろしいですか。

では、その日程につきましては、正副委員長にお任せということとよろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 では、そのような形で8月ごろ警察との意見交換会を行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、その他でございますが、何かございますか。

金澤委員 ちょっとさかのぼって恐縮なのですが、以前川口市の視察については、できれば自治会連合会の方も同行できればというような話があったと思うのですが、それについてはどうでしょうか。このタイミングで一緒に事前をお願いするか、またそれは

それとして、そのときの資料はお渡しして、狭山警察のときだけにするのか、ちょっとそこをお諮りしたいと思いますけれども。

委員長 今金澤委員のほうから意見が出されましたが、その点につきまして皆さんいかがでしょうか。例えば正副会長にお願いするとか、あるいは資料だけ提出するとか、そういった部分でどちらにしたらいいのか、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

金澤委員 それによって委員外議員の枠も違ってきてしまう。

委員長 今20……何人だったっけ。今20人かな、今。ちょっと厳しいかな。

金澤委員 だから、委員外議員を例えば3名にさせていただいて、自治会連合会会長、副会長2名とかとやることもできますよね。

永澤委員 自治会連合会長に行っていただきたいような内容があるのですか、それがちょっとよくわからないのですけれども。というのは、30キロ規制の生活道路といっても、連合会長が行っても、入間市の全体のどこが危ないか全部把握されているわけではないですし、そこら辺が非常に難しいかなというのがあるのです。そういう目で見ると連合会長をお呼びになるのか、それとも川口市に行くと、入間市として自治会のほうに何か話せるような内容が川口市にあるのか、ちょっとその辺わからないので、お聞きしたいのですけれども。

金澤委員 川口市で痛ましい幼児の死亡事故が発生したときに、生活道路30キロ規制をしたときに、一番中心として頑張っていたのが自治会の方なのです。全市的に自治会が、自分たちの自治会の

速度規制を、かかっていなくて、かけなければいけないところというのを、自治会単位で洗い出しをしていただいて、それを取りまとめて、本当に一斉に、当時川口市と地元の警察署と連携をして速度規制をかけたという経緯があるのです。そういう意味で、我々交通対策特別委員会だけで進めて、生活道路30キロ規制が必要だということではなくて、最終的には自治会の方と本当に協力をして、心を合わせてやっていかなければいけないというような話なのです、今回は。ですから、当初から現場で、川口市でどのような自治会の運動があったかとか、そういうのの動きについては、入間市のほうとしても、最初からできれば加わっていただけたらなということで、以前私は、自治会連合会の会長も一緒に同行したらいかがかというような提案をさせていただいたということです。

委員長 事務局のほうで、正副会長さんが同行した場合、例えばの話だけれども、事故とかそんなときにどんなふうな……。

事務局 非常に事務局的な話で申しわけないのですけれども、川口市への視察は正式な委員会活動という形になるかと思います。そうしますと、委員会として一般の方をお呼びするのは、参考人招致という制度しかございませんので、視察の同行となると、参考人招致という形ではないと思うのです。そうしますと、任意で行っていただくような形になってしまうと、法的な根拠がないので、行くとすれば執行部側の同行者というような形で行っていただくしかないのかなとは思いますが。

あと、警察のほうの意見交換会というか協議会ということであれば、フリーですので、傍聴に来ていただくというような形はとれます、ただ費用弁償等の補償はございませんけれども、フリーな参加はできるのかなということはございます。

平山委員 正副会長を連れていくということになっても、会長と副会長が3人だから、4人ということだから、区長会は。だから、またそれだけふえるわけになるから。

金澤委員 その中でも交通安全担当とかというのはないのですか。

平山委員 ない、ない。

委員長 できれば、今回はこの委員だけで行って、警察が来たときには傍聴人というような形でやるということではいかがでしょうか。

〔(今皆さんの……) と言う人あり〕

委員長 今そういう2通りが出たのですが、どんなふうにしたらよろしいですか。

金澤委員 では、急には決められないので、やはり一回声かけしていただいて、行けるかどうかの向こうの意思もあることですので、そこで正副委員長でちょっと調整させていただくということでもよろしいですか。

〔(わかりました) と言う人あり〕

委員長 では、そういう形で、正副会長さんがどのような意見を出してくれるかわかりませんが、一応意見を聞いてみるということにさせていただきますと思いますが、よろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長　それでは、そんな形に……

宮岡（幸）委員　委員外議員については、それはあくまでも据え置きという
こと。5人、先着5名は。

委員長　そうだね、一応3名にしましょう。

では、先着3名ということで、関谷さんは一番にぜひ……。

〔(事務局は) という人あり〕

事務局　事務局も同行させていただきます。

委員長　そうすると、3名でちょうどいいですよ。目いっぱい。事務局は6人だから、ちょうど……。

ほかにございますか。

〔(ありません) という人あり〕

△ 閉会の宣告（午後 2時40分）

委員長　なければ本日の議事はすべて終了いたしましたので、会議を閉
じます。

これをもって交通対策特別委員会を閉会といたします。

本日は大変ご苦労さまでした。

△ 署名

以上審査の次第は、正確なることを証するため、ここに署名する。

交通対策特別委員会委員長 近 藤 常 雄